

# 工事起工 概要書

部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	課 員	審査員	設計者			
執 行 年 度	平成 30 年度									
工 事 番 号 工 事 名	第30-01-001-2-290号 30単・市道A2290号線排水整備工事 起工 設計書									
工 事 場 所 又は履行場所	石岡市 若松三丁目地内									
施 工 方 法	請負			原契約年月日			年 月 日			
工 期 又 は 履 行 期 間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで 80 日間									
受 注 者										
費 目	起 工	第1回変更			増 減 (△)		変更請負に付する工事価格 $= \text{変更積算工事価格} \times \text{請負比率}$  請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め)  変更積算工事価格 — 円  請負比率 —  変更工事価格 — 円			
起 工 額										
請負(委託) に付する額										
工事(業務) 価 格										
測量試験費 又は工事雑費										
消費税相当額										
請負(委託) 決 定 額										
工 事 概 要										
内 容	規 格 1	數 量 1	單 位 1	規 格 2	數 量 2	單 位 2	規 格 3	數 量 3	單 位 3	
道路排水整備工事	L =	58.9	m	型式		式				
施工延長 L = 58.9 m										
側溝工 (KUS 300 × 300) L = 58.9 m										
舗装工 (再密As13 t = 50mm) A = 30.0 m <sup>2</sup>										
変更理由										

# 工事数量総括（内訳）表

第30-01-001-2-290号

実施 起工 設計書

工事区分	工種 種別	数量	単位	金額	細別 内訳
道路改良		1	式		
道路土工		1	式		
掘削工		1	式		掘削 10.000 m <sup>3</sup>
残土処理工		1	式		土砂等運搬 30.000 m <sup>3</sup> 残土等処分 30.000 m <sup>3</sup>
排水構造物工		1	式		
作業土工		1	式		床掘り 20.000 m <sup>3</sup> 埋戻し 7.000 m <sup>3</sup>
側溝工		1	式		プレキャストU型側溝 58.000 m 側溝蓋 58.000 枚
構造物撤去工		1	式		
構造物取壊し工		1	式		舗装版切断 60.000 m 舗装版破碎 39.000 m <sup>2</sup> コンクリート構造物取壊し 2.000 m <sup>3</sup>
運搬処理工		1	式		殻運搬 2.000 m <sup>3</sup> 殻処分 2.000 m <sup>3</sup> 殻運搬 2.000 m <sup>3</sup> 殻処分 2.000 m <sup>3</sup>
仮設工		1	式		
交通管理工		1	式		交通誘導警備員 6.000 人日
舗装		1	式		
舗装工		1	式		
アスファルト舗装工		1	式		下層路盤（影響部） 30.000 m <sup>2</sup> 上層路盤（影響部） 30.000 m <sup>2</sup> 表層（影響部） 30.000 m <sup>2</sup>
直接工事費計		1	式		
共通仮設費（率計上）		1	式		

# 工事数量総括(内訳)表

第30-01-001-2-290号

実施起工設計書

工事区分	工種種別	数量	単位	金額	細別内訳
共通仮設費計			式		
		1			
純工事費			式		
		1			
現場管理費			式		
		1			
工事原価			式		
		1			
一般管理費等			式		
		1			
工事価格			式		
		1			
消費税相当額			式		
		1			
請負工事費			式		
		1			

# 本工事費内訳書

第30-01-001-2-290号

実施起工設計書

工事区分	工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良						
道路土工						
掘削工						
掘削			m3			
	10.000					
掘削 土質(土砂), 施工方法(上記以外 (小規模) ( ), 施工数量(小規模 (標準) )		10.000	m3			施工P 第0001号代価表
残土処理工						
土砂等運搬			m3			
	30.000					
土砂等運搬 土砂等発生現場(小規模), 積込機種・規格(ハ ッカホウ山積0.28m3 (平積0.2m3) ), 土質(土 砂 (岩塊・玉石混り土含む) ), DID区間の有 無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (1 9.0km以下)		30.000	m3			施工P 第0002号代価表
残土等処分		30.000	m3			
ストックヤード利用料金 発生土搬入		30.000	m3			
排水構造物工						
作業土工						
床掘り		20.000	m3			
床掘り 土質区分(土砂), 施工方法(上記以外 (小規 模) ), 費用の内訳(全ての費用)		20.000	m3			施工P 第0003号代価表
埋戻し		7.000	m3			

# 本工事費内訳書

第30-01-001-2-290号

実施 起工 設計書

工事区分	工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
埋戻し 施工方法(上記以外(小規模)), 土質区分(土砂), 費用の内訳(全ての費用)		7.000	m <sup>3</sup>			施工P 第0004号代価表
側溝工						
アレキヤストU型側溝		58.000	m			
長尺U字溝(歩道用・スラグ入り含む)[土木工事標準単価] 作業区分(据付), U字側溝種類(KUS300*300), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無), 基礎碎石施工の有無(有), 基礎碎石の種類(再生ケラッシャーラン RB-40), 基礎碎石設計数量(0.5 m <sup>3</sup> /10m)		58.000	m			
側溝蓋		58.000	枚			
コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[ 土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(ISL-300), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無)		53.000	枚			
鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14)[ 土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(T-14 300用), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無)		5.000	枚			
消音ゴム U字溝1本当り加算額		29.000	個			
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
舗装版切断		60.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)		60.000	m			施工P 第0005号代価表
舗装版破碎		39.000	m <sup>2</sup>			

# 本工事費内訳書

第30-01-001-2-290号

実施起工設計書

工事区分	工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(10cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)		39.000	m2			施工P 第0006号代価表
コンクリート構造物取壊し		2.000	m3			
構造物とりこわし 構造物区分(無筋構造物), 工法区分(機械施工), 施工規模による加算(10m3未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 低騒音・低振動対策(不要)		2.000	m3			
運搬処理工						
殻運搬		2.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし), 積込工法区分(機械積込), DID区間の有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)		2.000	m3			施工P 第0007号代価表
殻処分		2.000	m3			
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下		4.000	t			
殻運搬		2.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械積込 (小規模土工)), DID区間の有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (12.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)		2.000	m3			施工P 第0008号代価表
殻処分		2.000	m3			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下		5.000	t			
仮設工						

# 本工事費内訳書

第 30-01-001-2-290 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
交通管理工						
交通誘導警備員			人日			
		6.000				
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務 (交替要員無し) )			人日			
		6.000				
舗装						
舗装工						
アスファルト舗装工						
下層路盤 (影響部)			m2			
		30.000				
下層路盤(影響部) 平均厚さ(175mmを超える200mm以下), 材料(再生クラッシャン RC-40), 費用の内訳(全ての費用)		30.000	m2			施工P 第0009号代価表
上層路盤(影響部)			m2			
		30.000				
上層路盤(影響部) 平均厚さ(125mmを超える150mm以下), 材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)		30.000	m2			施工P 第0010号代価表
表層(影響部)			m2			
		30.000				
表層(影響部) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物 (13) ), 漆青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)		30.000	m2			施工P 第0011号代価表
直接工事費計						
共通仮設費 (率計上)						
共通仮設費計						

# 本工事費内訳書

第 30-01-001-2-290 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費等						
工事価格						
消費税相当額						
請負工事費						

第 0001 号 代価表 挖削

施工P(機32.60%, 労58.13%, 材9.27%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0. 28m <sup>3</sup>	32.600	%			K1
運転手 (特殊)	58.130	%			R1
軽油 1. 2号	9.270	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	土質	1	土砂
J 0 2	施工方法	5	上記以外 (小規模)
J 0 6	施工数量	5	小規模 (標準)

第 0002 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機27.43%, 労62.37%, 材10.20%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級	27.430	%			K1
運転手 (一般)	62.370	%			R1
軽油 1.2号	10.200	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土砂等発生現場	2	小規模
J 0 2 積込機種・規格	5	ハック丸山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )
J 0 3 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J 0 4 DID区間の有無	1	無し
J 1 3 運搬距離 (km) (DID区間無)	12	19.0km以下

第 0003 号 代価表 床掘り

施工P(機23.90%, 労70.06%, 材6.04%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型 (第2次) 山積0. 28m <sup>3</sup>	23.900	%			K1
運転手 (特殊)	37.860	%			R1
普通作業員	32.200	%			R2
軽油 1. 2号	6.040	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	土質区分	1	土砂
J 0 2	施工方法	5	上記以外 (小規模)
J 0 5	費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 埋戻し

施工P(機11.53%, 労85.22%, 材3.25%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型 (第2次) 山積0. 28m <sup>3</sup>	10.820	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.710	%			K2
普通作業員	48.700	%			R1
特殊作業員	19.390	%			R2
運転手 (特殊)	17.130	%			R3
軽油 1. 2号	2.730	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.520	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)
J 0 1 施工方法		5	上記以外 (小規模)		
J 0 2 土質区分		1	土砂		
J 0 4 費用の内訳		1	全ての費用		

第 0005 号 代価表 補装版切断

施工P(機7.02%, 労54.79%, 材38.19%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.500	%			K1
特殊作業員	18.790	%			R1
普通作業員	16.350	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	35.440	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.760	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2	アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J 0 5	費用の内訳	1	全ての費用

第 0006 号 代価表 補装版破碎

施工P(機8.85%, 労85.77%, 材5.38%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	8.850	%			K1
普通作業員	40.110	%			R1
世話役	23.180	%			R2
運転手 (特殊)	22.480	%			R3
軽油 1.2号	5.380	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 補装版種別	1	アスファルト補装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 補装版厚	3	10cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 裸運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1. 2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	殻発生作業	1	Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし
J 0 2	積込工法区分	1	機械積込
J 0 3	DID区間の有無	1	無し
J 0 4	運搬距離 (km) (DID区間無)	12	11.5km以下
J 1 6	費用の内訳	1	全ての費用

第 0008 号 代価表 裸運搬

施工P(機20.82%, 労71.30%, 材7.88%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>3</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	20.820	%			K1
運転手 (一般)	71.300	%			R1
軽油 1. 2 号	7.880	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2	積込工法区分	5	機械積込 (小規模土工)
J 0 3	DID区間の有無	1	無し
J 1 2	運搬距離 (km) (DID区間無)	11	12.0km以下
J 1 6	費用の内訳	1	全ての費用

## 第 0009 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機5.40%, 労57.71%, 材36.89%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.800	%			K1
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.450	%			K2
普通作業員	24.290	%			R1
運転手 (特殊)	20.360	%			R2
特殊作業員	11.390	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	35.560	%			Z1
軽油 1.2号	1.300	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)
J 0 1 平均厚さ		4	175mmを超える200mm以下		
J 0 2 材料		6	再生クラッシャーラン RC-40		
J 0 3 費用の内訳		1	全ての費用		

## 第 0010 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.31%, 労56.66%, 材38.03%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.750	%			K1
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.410	%			K2
普通作業員	23.850	%			R1
運転手 (特殊)	19.990	%			R2
特殊作業員	11.180	%			R3
粒度調整碎石 M-30	36.730	%			Z1
軽油 1.2号	1.270	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)
J 0 1 平均厚さ J 0 2 材料 J 0 3 費用の内訳	条件名称	入力値	入力名称		
		2	125mmを超える150mm以下		
		5	粒度調整碎石 M-30		
		1	全ての費用		

## 第 0011 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.52%, 労46.25%, 材53.23%, 市0.00%)

第30-01-001-2-290号

1.000 m<sup>2</sup> 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.350	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.090	%			K2
特殊作業員	18.290	%			R1
普通作業員	15.950	%			R2
世話役	4.630	%			R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	47.360	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.770	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.060	%			Z3
軽油 1.2号	0.030	%			Z4
			(標準単価 積算単価)		)
J01 平均幅員	1	入力値	1.4m未満(仕上厚50mm以下)	入力名称	
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	50		50 mm		
J05 材料	11		再生密粒度アスファルト混合物(13)		
J06 灑青材料種類	2		プライムコート PK-3		
J07 費用の内訳	1		全ての費用		

## 特記仕様書

### (総則)

- 第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。  
2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

### (工期)

- 第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。

### (工事数量)

- 第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

### (工程関係)

- 第4条 工事施工の作業時間帯は、下表を標準とすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

### (建設資材)

- 第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
基礎工	再生クラッシャーラン	RB-40
下層路盤工	再生クラッシャーラン	RC-40
舗装工	再生アスファルト	再生密粒As13

### (建設機械)

- 第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。  
2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

- 第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

- 2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

### (過積載の防止)

- 第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。  
(1)積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込みます、また積み込ませないこと。  
(2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。  
(3)資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにす

ること。

- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込みます、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

#### (交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、別添図面のとおり、交通誘導員及び保安要員を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、現道等に関わる工事又は業務において交通誘導員の配置が必要な場合には、交通誘導員Bを必要員数配置するものとし、かつ上記指定箇所の場合には内1人以上交通誘導員A(有資格者)を配置するものとする。なお、交通誘導員は警備業者の警備員としているが、やむを得ない理由により受注者がこれを確保できない場合には、上記以外の者が交通誘導を行うことを認め、交通誘導に支障が無いよう指示書で指示するものとする

#### (発生土の処理)

第10条 本工事における発生土については、下記により搬出すること。

- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は、設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)、が管理する所定のストックヤードを利用すること。
- (2) 工事着手前に、ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
- (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し、必要な試験を行うとともに、その結果を管理センターへ提出すること。
- (4) 搬出する10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程等について打ち合わせを行うこと。
- (5) ストックヤード利用料金は、設計地山土量1m<sup>3</sup>当たりの単価で算出し、管理センターの請求により支払うこと。
- (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。
- (7) その他搬出先が指定されている場合は、監督員と協議を行い、搬出先の確認を行った後、周辺に影響の無いよう搬入を行うこと。

#### (不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。

- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて抗等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
- (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
- (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
- (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
- (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
- (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。

2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

**数 量 総 括 表**

30単・市道A2290号線排水整備工事 石岡市 若松三丁目 地内

工種	種別	細別	規格	算式	単位	数量	積算数量
道路土工							
	掘削工	掘削		別紙計算書	m3	11.8	10
	残土処理工	残土処理	ダンプトラック4t運搬	※作業土工発生土含む	m3	25.9	30
			ストックヤード利用料金	※作業土工発生土含む	m3	25.9	30
排水構造物工							
	作業土工	床堀り	床堀り	別紙計算書	m3	21.2	20
		埋戻し	埋戻し	別紙計算書	m3	7.1	7
	側溝工	プレキャストU型側溝	長尺U字溝(歩道用)	KUS300×300	m	58	58
		側溝蓋	コンクリート側溝蓋	ISL-300	枚	53	53
			鋼鉄製蓋布設	T-14 300用	枚	5	5
			消音ゴム	58.0/2=29.0	個	29	29
構造物撤去工							
	構造物取壊し工	舗装版切断	舗装版切断		m	59.9	60
		舗装版破碎	舗装版破碎		m2	38.5	39
		コンクリート構造物取壊し			m3	1.8	2
	運搬処理工	As殻運搬	殻運搬(2tダンプトラック積)	38.5 × 0.05=1.925	m3	1.9	2
		As殻処分	アスファルト廃材処理費 (中間処理施設)	1.9 × 2.35=4.465	t	4.5	5
		Co殻運搬	殻運搬(10tダンプトラック積)	蓋 600mm 24ヶ 0.426m <sup>3</sup> 1.5m 2ヶ 0.054m <sup>3</sup> U字溝 180 29.5本 1.357m <sup>3</sup>	m3	1.8	2
		Co殻処分	コンクリート廃材処理費 (中間処理施設)	1.83 × 2.35=4.3	t	4.3	4

## 数量總括表

30単・市道A2290号線排水整備工事 石岡市 若松三丁目 地内

# 計算書

### 30単・市道A2290号線排水整備工事（石岡市 若松三丁目 地内）

計算書

### 30市道A2290号線排水整備工事（石岡市 若松三丁目 地内）

## 計算書

### 30単・市道A2290号線排水整備工事（石岡市 若松三丁目 地内）

